

### 解説 補正予算とは

町の予算は、収入及び支出の見込みを議会の議決を経て定めたもので、通常、その年度が始まる前に「当初予算」を編成します。これに対し、制度改正等に伴って、当初予算段階では予定されていないまたは予定していた事業が中止されるなど、年度途中で生じた出来事に対応して当初予算の内容を変更する必要がある場合に編成されるのが「補正予算」です。

#### 一般会計(今年度2回目の補正です) ※以降、カッコ内の回数は同様の意

1億896万1,000円を増額補正(現計予算比1.2%増) ※以降、カッコ内の%は同様の意

**主な補正内容** 踏切の安全対策推進や、重度障害者への支援策強化のための事業費をはじめ、財源不足に対する補てんを含めた国保会計への繰出金等が追加・計上され、全体として増額補正となっています。

※田母神節子議員より「非正規職員の方が多く保育所もあるが、住民サービス向上のために町職員の増は不可欠。補正予算でこそ対処すべき」との反対討論が、大平久幸議員より「心身障害児通園施設事業費の計上や、安心安全なまちづくりの推進のための踏切道保安設備整備などを評価する」との賛成討論がありました。



英語補助教員(ALT)の活動…鉢形小授業風景…

#### 農業集落排水事業特別会計(2回目)

67万2,000円を減額補正(0.3%減)

**主な補正内容** 事業の確定による工事費等の追加並びに補償料の減額があり、全体としては減額補正となりました。折原地区の事業進捗状況についての質疑に対して“順調に進んでいる”との答弁がありました。

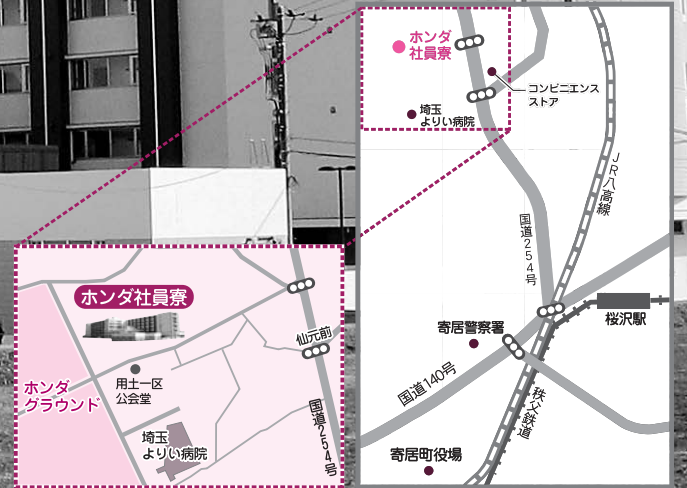


折原地区 農業集落排水事業区域概略図

# ホンダ社員寮完成 若いエネルギーに期待!



用土地内に完成したホンダ社員寮全景(総戸数…252戸)



### 報告します ホンダ工場立地支援委員会

から

12月17日に開催された委員会において、町長より、ホンダの国内投資見直しについて報告を受けました。ホンダは世界的な自動車需要の急減を受け、国内での投資計画を見直し、中型四輪車の新たな生産拠点として2010年に予定していた寄居工場の稼働開始時期を1年以上延期。小川町に建設中のエンジン工場については2009年7月から稼働し、エンジン部品を国内外の生産拠点に供給する予定とのこと。

寄居町へのホンダの新工場建設決定を受け、町内への企業立地を積極的に推進する目的で平成18年4月に全議員を構成員として組織されたのが、「寄居町議会 ホンダ工場立地支援委員会」です。

委員会では、ホンダの既存工場のほか、和光市や狭山市の社員寮を視察して、新工場等新たなホンダ施設の受け入れのための準備を進め、工事着手後は、現地視察による進捗状況の確認を行ってきました。

また、都市対抗野球の応援等、人的な交流も行い、さまざまな面を通じてホンダとの懸け橋となるべく活動を行っています。

一方、寄居町企業誘致推進計画の策定段階から町側と意見交換を行い、町内の工場適地の選定のため視察等を重ねるなど、ホンダ以外の企業誘致も積極的に推進し、多くの企業を寄居町に誘致することで町民生活の安定・向上に寄与するべく、今後も努力を重ねてまいります。

### 12月定例会

(12/3~12/15 13日間)

常任委員会 (12/5・12/8・12/9)

13日間にわたって開催された12月定例会では、補正予算など議案9件と、請願2件の審議・審査が行われました。(審議結果は5ページをご覧ください) また、会期中にホンダ(本田技研工業株式会社)から寄居新工場等に関する発表があり、ホンダ工場立地支援委員会が開催されました。